



幸せの種まき運動事業
イメージキャラクター
「種まきくんファミリー」

ふれあいひろば



題字 認定こども園はやせ みうら ちづ さん



赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、鶴田町では地域福祉事業に役立てられています。皆様からお寄せいただく優しい気持ちは、子どもと家族の支援、高齢者の居場所づくりや、ハンディキャップをお持ちの方々の社会参加支援等、様々な福祉活動に使われています。

この活動に必要とされる目標額を達成するため、日安額として一世帯800円以上（歳末たすけあい募金を含む）をお願いしています。※町内会一括で納めている地区には募金封筒は届きません。

決して強制ではなく、任意の募金です。今年も各ご家庭へ募金封筒をお届けします。

地域で最も身近なボランティアとして、ご協力をよろしくお願ひいたします。

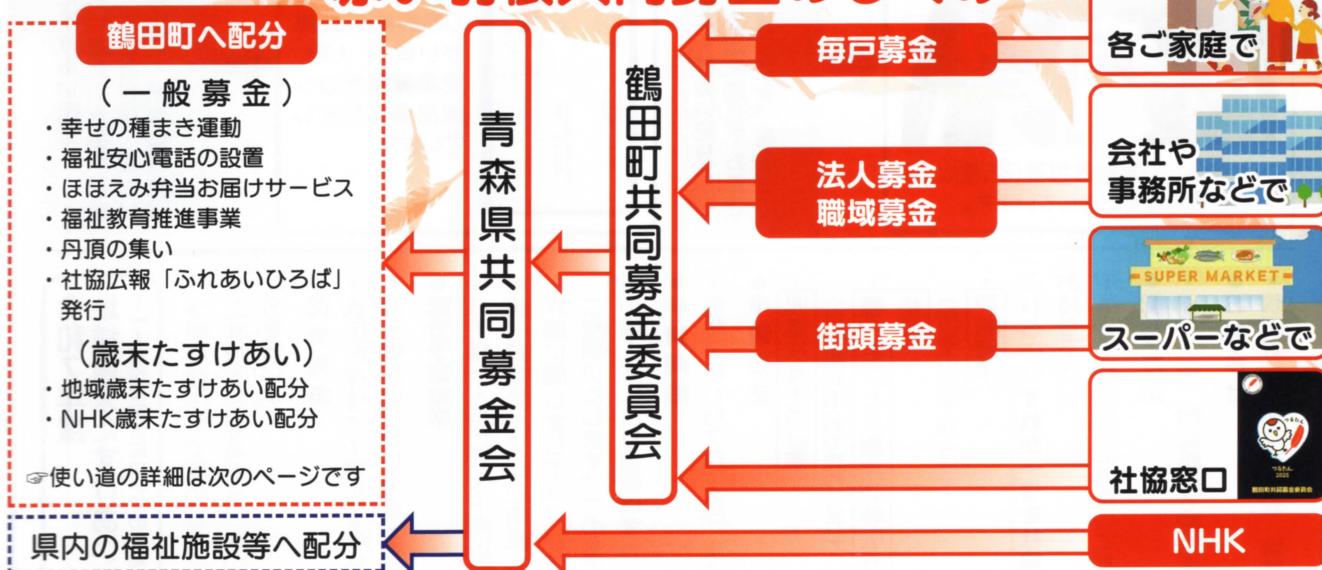
赤い羽根共同募金運動が始まります！



運動期間

令和7年10月1日～令和8年3月31日

赤い羽根共同募金のしくみ



〒038-3503

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193

鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394 FAX. 22-6322

HPアドレス : <http://tsuruta-syakyo.or.jp/>

有限会社 アート印刷

発 行



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。



鶴田町社会福祉協議会HP

一般募金

ほほえみ弁当お届けサービス



一人・二人暮らし世帯(70歳以上)を対象に月1回、栄養バランスのとれた食事を「調理・配達ボランティア」の協力のもと、提供しています。

福祉教育推進事業



手話講座

福祉教育講座などを通じて、地域福祉への関心や理解を深め、思いやりの心を育みます。

幸せの種まき運動



ゴミ拾い

住民一人一人が地域に関心を持ち、お互いに知恵を出し合い、地域を元気にするための事業です。

社協広報「ふれあいひろば」発行



福祉に関する情報提供のため、年6回町内全世帯へ配布しています。

丹頂の集い



お花見ツアーリ

一人暮らし高齢者(65歳以上)を対象に、仲間づくり・孤立感の解消・健康に対する意識向上を図るため、様々な行事を実施しています。

福祉安心電話



一人・二人暮らし高齢者のご自宅に設置し、利用者の安心安全を支えていきます。

おせち料理の配達



一人暮らしの高齢者世帯(85歳以上)へおせち料理を配達しています。

NHK歳末たすけあい配分
NHKの放送を通じてお寄せ
いただいた寄付金を、高齢者の
方に配分。

商品券の配布



一人・二人暮らし高齢者世帯、障がい者、一人親、児童養護施設へ商品券を配布しています。

地域歳末たすけあい配分
皆様からいただいた毎戸募金
の中から、高齢者世帯・障がい
者・一人親世帯・児童養護施設
へ配分。

**令和7年度
地域歳末たすけあい募金**
（一人親世帯配分についてのお知らせ）

今年度鶴田町で集められる地域歳
末たすけあい募金から、次とのおり
配分を行います。

- **お問い合わせ**
鶴田町社会福祉協議会 地域福祉課
- **配分方法**
12月下旬、鶴遊館にて配布予定
- **お子様**
これらのいずれか一つを社協窓口まで
お持ち下さい。
申請書は社協窓口に用意しております。
- **戸籍謄本**
(対象のお子様分)
- **格証**
(青森県知事名で発行されているもの)
- **鶴田町ひとり親家庭等医療費受給資**
- **児童扶養手当証書**

鶴田町共同募金委員会

〒038-3503鶴田町大字鶴田字沖津193 鶴田町社会福祉協議会 鶴遊館
TEL:0173-22-3394 FAX:0173-22-6322

WEBサイトも
見てね！



いきいき楽しく！長生きの町 鶴田



鶴田町委託事業 一般介護予防事業

介護予防事業は予約不要・参加費無料で気軽に参加できます。（寺子屋を除く）体力維持や認知機能低下の予防に、みんなと一緒に楽しく介護予防に取り組みませんか？開催日時に関しましては、4ページに記載しています。

介護予防送迎車スマイル号



交通手段のない方を、自宅近くの停留所から鶴遊館まで送迎します。

◆対象者…原則65歳以上で移動手段のない方

◆利用方法…最初に登録し、利用したい日の前日午前までに電話で予約。登録料や利用料は無料。

◆温泉・介護予防事業のほか、個別の買い物にも対応しています。買い物に行きたい方は、早めの予約がおすすめです。

9月21日は「世界アルツハイマーデー」
「もつと知ろう、もつと語ろう認知症！」
シンボルカラー：オレンジ色のTシャツを作成し、着用して皆で啓発活動を行いました。



↑認知症カフェ「スマイルハウス」サポートのおふたり。ビビットなオレンジがお似合いです。

鶴田町託 生活支援サポーター 養成講座～受講者募集～

◆申込・問合せ	地域福祉課	◆開催日	令和7年11月1日(土)
◆送迎	9時～12時	◆時 間	令和7年11月1日(土)
◆対象者	保健福祉センター鶴遊館	◆場 所	保健福祉センター鶴遊館
◆締切	令和7年10月15日(水)	◆受講料	無料
◆定員	10名程度	◆募集中人数	10名程度
◆参加費	不可)	◆対象者	鶴田町在住の満18歳以上(高校生
◆申込・問合せ	地域福祉課	◆申込・問合せ	令和7年10月23日(木)
◆開催日	令和7年10月23日(木)	◆開催日	令和7年10月23日(木)
◆コース	9時～14時30分	◆時 間	9時～14時30分
◆心	鶴遊館→ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)→アオモリボーラードキッチン(青森市アートホテル内)→鶴遊館	◆地 点	鶴遊館→ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)→アオモリボーラードキッチン(青森市アートホテル内)→鶴遊館
◆内容	心じやわめぐ青森ねぶたの歴史に触れ、お昼はホーリーピュッフェ(食べ放題)を楽しみませんか?	◆内 容	心じやわめぐ青森ねぶたの歴史に触れ、お昼はホーリーピュッフェ(食べ放題)を楽しみませんか?
◆先着順	3,000円(昼食付)	◆申込・問合せ	地域福祉課
◆送迎希望者は、申し込みの際、お知らせください	令和7年10月15日(水)まで	◆送迎希望者は、申し込みの際、お知らせください	令和7年10月15日(水)まで
◆介助を要さない、ひとり暮らし高齢者の方	介助を要さない、ひとり暮らし高齢者の方	◆申込・問合せ	地域福祉課

【一般介護予防事業 in 鶴遊館】

善意の灯

(令和7年7月11日～9月10日：敬称略)

一般寄付(金銭)

つるた乳幼児園
14,485円
(鶴花塾就学支援へ)



須郷 恵美子	100,000円
小野 キヨ	200,000円
鶴水ボーリング株式会社	100,000円
匿名	100,000円

一般寄付(物品)

藤田 文男 夏物シャツ・ズボン他
坂本 蕙久 きゅうり

思いやりのこもったご寄付をいただき
ありがとうございました!!

みんなの居場所『育~Hug (ハグ) ~』

時間：9時～16時（灌在時間自由）

时间 :
提所 : 每

對象：小学生以上（保護者同伴可）

10月	11月	12月
5日(日)	9日(日)	14日(日)
19日(日)	30日(日)	28日(日)

スマイルハウス（認知症カフェ）

時間：13時30分～15時30分

時間：13時30分～15時30分
認知症のある方や、その家族だけでなく、
認知症に興味のある方ならば、誰でも気軽に利用できる憩いの場です。

10月	11月	12月
22日(水)	19日(水)	24日(水)

◆お詫びと訂正◆

7月31日号（№374）の広報3ページ「任期満了に伴い、理事・評議員が選任されました」と4ページ「つぶやき」の欄に誤りがありましたので、お詫びを申し上げますとともに、左記の通り訂正させていただきます。

●3ページ

○理事	(再任)	赤城 敦
○代表監事	(再任)	赤城 敦
○理事	(再任)	工藤 正弘
○監事	(再任)	工藤 正弘
○理事	(再任)	一戸 雅人
○監事	(再任)	一戸 雅人
●4ページ		
○「検診」		
○「健診」		
○「健康受診率」		
○「健診受診率」		
○「保険協力員」		
○「保健協力員」		
○「食生活改善活動推進員」		
○「食生活改善推進員」		
○「鶴田町食生活改善推進会」		
○「鶴田町食生活改善推進員会」		

今年は被爆・戦後共に80年。ひとり一人が自身の思いに対峙したことでしょう。戦争体験者は年々減少し、記憶と記録として伝えることが大切になりました。▼父は戦争体験記『苦闘の中国軍と共に』を1982年に自費出版。叔父は2012年に戦争体験まんが絵日記『一生一途に』を株廣済堂出版から発刊。その二人の弟は終戦間近に乗つていた船が沈められ、南太平洋波下に眠る。享年22歳。▼昨年、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しましたが世界各地の戦争は止む気配がありません。逆に核戦争の危機が迫っているようにも感じます。平和な世界実現は困難な道程なのか。▼私は1978年から全国ボランティア研究集会の実行委員に選任され、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで全国大会を開催した時に出会った忘れられない絵本があります。▼「広島に原爆が投下され、水を求めて逃げのびて来た女の子。少女には優しい母の顔に見えたお地蔵様の顔が仁王になり、目からあふれた涙が少女の口元に流れ：」というお話しの絵本『おこりじどう』です。山口勇子原作、語り沼田曜一、絵四国五郎、株金の星社1979年出版。語りの沼田曜一氏は映画俳優でしたが全国各地の民話の語り部でもありましたので大会記念講演にお招きし、お会いしました。▼その10年後『原爆の図』（国際平和賞受賞）を画いた丸木位里・俊夫妻に会えたのは運命としか言えない。訥訥と細い声で多くを語ることはなかつたけれど、平和を希求する気迫に今でも心が揺さ振られていて、地蔵の涙で喉の奥がひら辛い。

「お地蔵様の涙」

